

総合的な学習の時間学習指導案

指導者 奥谷 和幸

- 1 日時 令和4年2月10日(木) 第4校時
- 2 場所 3年生教室
- 3 学年 第3学年 男子11名 女子9名 計20名
- 4 単元名 「神石高原町の特産物のこんにやくを広めよう」
- 5 単元について

○児童観

本学級の児童は、総合的な学習の時間において、「神石高原町の特産物のこんにやく」について調べる学習や広める活動に取り組んできた。

児童は、総合的な学習の時間を毎時間楽しみにしており、神石高原町の特産物のこんにやくについて調べたいと思ふ学習の計画を立てたり、社会見学でこんにやく工場で学んだことや自分たちが調べたこと等をミニ発表会で情報発信したりする活動を行ってきた。

本学級の児童に、総合的な学習の時間についてのアンケートを行ったところ、結果は次の通りとなった。
(肯定的評価/20人中)

課題 発見力	1	身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことをみつけています。	19
	2	地域の方のために自分にできることを考えています。	18
	3	友達や、地域の人がもっている悩みを解決したり、願いをかなえてあげたりしたいと思ひます。	18
課題 解決力	4	解決しようとする課題について何をすればよいのか、何が使えるかを考えることができます。	18
	5	課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。	16
	6	課題を解決するためのものを集める前に、どのような方法だと必要なものを集めることができるのかを考えています。	16
	7	たくさんの資料から、さまざまなものを集めることができます。	19
	8	集めたことから、ひとつようなことを選んで、調べたことをまとめることができます。	20
	9	調べて分かったことを、分かりやすい方法(図、グラフ、表など)を考えてまとめています。	17
	10	調べたことを比べたり、仲間分けしたりして何が分かるのかを考えています。	14
	11	友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	20
	12	発表する相手を考えて、自分の考えとその理由を明らかにして、分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	17
	13	自分の考えを進んで伝えていきます。	16
	14	友達と話し合う時、お互いが納得のいく考えをつくらうとしています。	16
振り 返り力	15	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか。」「学習方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	16
	16	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	14

アンケートの結果から、概ね肯定的な評価をする児童が多かった。しかしその中でも、「調べたことを比べたり、仲間分けしたりして何が分かるのかを考えています。」の項目においては肯定的に回答する児童の割合が少し低かった。集めた情報どうしを比べたり、仲間分けしたりする方法の具体的な指導が不十分であったためだと考える。さらに、「学習の振り返りをするときには、『もっと考えてみたいこと』『もっと調べてみたいこと』『もっと工夫してみたいこと』などを考えています。」の項目においても肯定的な回答をする児童の割合が少し低かった。これは、活動後に振り返りを行うための時間を十分に設けていなかったことが原因だと思われる。振り返りを行うことができるような授業計画が必要である。しかし、「集めたことから、必要なことを選んで、調べたことをまとめることができます。」「友達

と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。」の項目において肯定的な評価をする児童が多かった。児童は、神石高原町のこんにやくの良さを知ってもらうために、調べたことを、グループに分かれて友達と意見交流を行いながら協力して、ポスター作りに取り組んだ。そのポスターを使って、ミニ発表会では保護者に、発表する活動も行った。その学習活動が児童にとって充実したものであったため、肯定的評価につながったのではないかと考える。

○単元観

本単元では、自分たちが住む神石高原町の特産物のこんにやくについて調べ、神石高原町のこんにやくの良さに気づき、自分たちもそれを広めていきたいという心情を育てていきたい。その思いのもと、様々な方法を児童たちで課題解決学習を進めながら、宣伝活動の実践を行うことをねらいとしている。

○指導観

指導に当たっては、まず、神石高原町内のこんにやくについて調べることで、見どころに対する興味や関心を高めていきたい。そして、こんにやくについて各グループで調べたり、実際にこんにやく芋を栽培したりする中で、こんにやく芋の栽培方法やこんにやくの良さなどについての知識を深めさせていきたい。また神石高原町の特産物のこんにやくを広めるために、自分たちに何かできるのではないかと考えるをもって、実際に行動できるように取り組ませていきたい。

調べたことについては、整理し可視化させることで、今自分達の欲しい情報を得られているのか、次に自分達はどんな情報を必要としているのかを考えさせていきたい。また、知り得た情報をお互いに見合うことで自分達の情報収集に役立てられるようにする。

振り返りの時には視点を与え、改善点について考えるなど今後の学習を見通した振り返りとなるようにしていきたい。

大まかな指導計画として、①1学期「神石高原町の特産物のこんにやくを育てよう」②2学期「こんにやくについて調べたことをまとめ伝えよう」③3学期「もっと多くの人にこんにやくの良さについて広めよう」とし、「神石高原町の特産物のこんにやくを広める」という大きな目的を達成するために、児童が主体となって活動に取り組めるようにしたい。

6 単元の目標

- 神石高原町の特産物について調べ、地域の人たちにインタビューをしたり、実際に見学したりするなどの体験活動を行い、探究的・協働的な学習を通して、神石高原町のすばらしさや地域の人たちの思いに気づき、自分たちも地域のすばらしさを発信したいという思いをもってまとめ、発信することで地域に対する思いを深める。

7 本単元で育てようとする資質・能力

課題発見力	地域の中から、問題を見つけている。
課題解決力	自分と相手の考えを比較し、まとめたり伝えたりしている。
振り返り力	学習計画に照らし合わせて、振り返っている。

8 単元の評価規準

評価 の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		課題設定・情報収集 整理分析・まとめ表現	協働・自己理解
単 元 の 評 価 規 準	<p>①こんにゃくをめぐる問題とよりよい食生活の創造を目指した取組について理解している。</p> <p>② 相手意識をもち、伝えるための具体的な方法を身に付けている。</p> <p>③こんにゃくのよさや地域の人々の思いについての理解は、宣伝活動を探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。</p>	<p>①神石のこんにゃくの良さに気付き、多くの人に広めるための課題をたてることができている。</p> <p>②神石のこんにゃくの良さを広めるために、どんな相手にどんな方法で宣伝活動をすればよいか考え活動までの行程を立てている。</p> <p>③理由を持って神石のこんにゃくの良さを根拠とともに発表し、友達が活動で見つけたものと、自分が見つけたものを比較し、共通する良さや違いに気付いている。</p> <p>④神石のこんにゃくの良さについて、友達の発言と関わるところを見つけて、自分の言葉で相手に伝わるようにまとめている。</p>	<p>①分かったことや、自分の学び方の成長、学んだことの自分にとっての意味、学んだことどうしの関わりについて振り返っている。振り返った中から、次の学習の課題や活動について考えている。</p> <p>②探究していく中で、友達の追究の状況、困っていること、大変な思いをしていることなどを想像して関わり、相手のことを考えた行為を自ら進んで行っている。</p> <p>③「神石のこんにゃくの良さを誰にどのように紹介するか」という、状況に対してどう行動すればよいか自分なりの「答え」を見つけている。</p>

9 単元におけるルーブリック（思考・判断・表現）

	A	B	C
項目	神石のこんにゃくの良さについて、友達の発言と関わるところを見つけながら、相手や目的に応じて効果的な表現を用い、相手に伝わるようにまとめている。	神石のこんにゃくの良さについて、友達の発言と関わるところを見つけて、自分の言葉で相手に伝わるようにまとめている。	神石のこんにゃくの良さについて、友達の発言と関わるところを見つけて、自分の言葉で相手に伝わるようにまとめることができない。

10 学習過程ごとの主な学習活動と評価規準（全70時間）

	学習過程ごとの主な学習活動	評価規準
一学期	<p>【課題設定】</p> <p>○単元の課題設定をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神石高原町の有名なものは何があるかを出し合い、多くのものがあることを知る。 ・神石高原町のこんにゃくの生産量や知名度が下がったことを知り、知ってもらいたいという課題をもつ。 <p>○神石高原町のこんにゃくを広く知ってもらおう取り組みについて考える。</p> <p>年間テーマ</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;">神石高原町のこんにゃくを広めよう。</div> <p>1学期【課題】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">神石高原町のこんにゃくについて調べよう。</div> <p>【情報収集1】</p> <p>○設定した課題について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こんにゃく芋の育て方」「こんにゃくの作り方」「こんにゃくレシピ」などについて、情報を収集する。 ・インターネット検索し、調べる。 <p>○ゲストティーチャーの話や芋植えの体験から新しいことを知る。</p> <p>【整理分析1】</p> <p>○収集した情報を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを整理してまとめる。 <p>【まとめ・表現1】</p> <p>○こんにゃくについてのポスターかチラシを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループでポスター、チラシを作る。 	<p>○地域の土地利用や生産者の現状について理解している。</p> <p>○地域の良さに気付き、好奇心をもって「知りたい・調べたい」ことを見つけている。</p> <p>○地域のよさを見つけるためには、どう行動すれば良いか自分なりに答えている。</p> <p>○分かったことや学んだことについて自分の成長を振り返っている。振り返った中から、次の学習の課題や活動について考えている。</p> <p>○地域の良さを見つけるには、どうすれば良いかを考え、適切な手段を選んでいる。</p> <p>○地域の土地利用や生産者の現状について理解している。</p> <p>○自分の見つけた地域の良さを発表するとともに、友達の見つけたものの良さや違いに気付いている。</p> <p>○地域の良さについて、自分の言葉で相手に伝わるようにまとめている。</p>

<p>一 学 期</p>	<p>【課題設定2】 ○ミニ発表会で1学期の活動をどのように発表していくか課題を設定する。 2学期【課題】</p>	<p>○地域の良さに気付き、特産のこんにやくを広めるための課題をもっている。</p>
	<p>神石高原町のこんにやくについてたくさんの人に知ってもらおう。</p>	
<p>【情報収集2】 【整理・分析2】 ○知りたいこと、伝えたいことについて情報収集し、整理する。 ○何を、誰に、どのようにして伝えるか、情報を見直し、整理する。 ・1番伝えなければいけないことは何か考える。 ・だれに、どのようにして伝えるのか考える。</p> <p>【まとめ・表現2】 ○ミニ発表会の準備・練習をする。 ・こんにやくの良さなどについて分かりやすく伝える方法を考える。 ・伝え方を考えながら、グループで協力して練習する。 ○ミニ発表会で発表する。</p>	<p>○本やウェブサイトなどから、検索ソフトを使って、こんにやくについての情報をたくさん収集している。 ○神石のこんにやくを広めるための課題に気付き、必要な情報について多様な方法を用いて調べている。 ○神石のこんにやくの良さを調べる中で、友達が活動で見つけたものと、自分が見つけたものを比較し、共通する良さや違いに気付いている。 ○神石のこんにやくの良さについて、自分の言葉で相手に伝わるようにまとめている。 ○探究していく中で、友達の追究の状況、困っていること、大変な思いをしていることなどを想像して関わり、相手のことを考えた行為を自ら進んで行っている。 ○どんなこんにやくレシピを作るかという、状況に対してどう行動すればよいか自分なりの「答え」を見つけている。</p>	

三 学 期	<p>【課題設定3】</p> <p>○学習したことをもとに、神石高原町のこんにやくについて知らせる方法を考える。</p> <p>3学期【課題】</p>	<p>○神石のこんにやくの良さに気が付き、多くの人に広めるための課題をたてるができている。</p>
	<p>神石高原町のこんにやくについて広く知ってもらおう。</p>	
<p>【情報収集3】</p> <p>○調べたことを効果的に発信する方法について調べる。 (ポスター、チラシ、動画、CM、商品のパッケージなど)</p> <p>【整理・分析3】</p> <p>○調べたことから、どのように成果物を作っていくのか考える。</p> <p>○作った成果物をどうやったら広く知らせられるのか考える。</p> <p>○成果物を他グループと交流し、改善案を考える。(本時)</p> <p>○改善案をもとに仕上げを行う。</p> <p>【まとめ・表現3】</p> <p>○自分たちで考えた内容や方法を実践する。</p> <p>○神石高原町のこんにやくを広める活動を行う。</p> <p>○これまでの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お世話になった方にお礼の手紙を書く。 ・付いた力や成長したこと、生活に生かしたいことなど、自己肯定感を感じられる振り返りをする。 	<p>○相手意識をもち、伝えるための具体的な方法を身に付けている。</p> <p>○神石のこんにやくの良さを広めるために、どんな相手にどんな方法で宣伝活動をすればよいか考え活動までの行程を立てている。</p> <p>○「神石のこんにやくの良さを誰にどのように紹介するか」という、状況に対してどう行動すればよいか自分なりの「答え」を見つけている。</p> <p>○神石のこんにやくの良さについて、友達の発言と関わるところを見つけて、自分の言葉で相手に伝わるようにまとめている。</p> <p>○理由をもって神石のこんにやくの良さを根拠とともに発表し、友達が活動で見つけたものと、自分が見つけたものを比較し、共通する良さや違いに気付いている。</p> <p>○こんにやくのよさや地域の人々の思いについての理解は、宣伝活動を探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。</p>	

1 1 本時の学習

(1) 本時の目標

チラシや、ポスターなどを仕上げるために、自分たちの成果を他のグループと交流し改善点を話し合うことができる。

(2) 本時の評価規準

チラシや、ポスターなどを仕上げるための改善点を根拠をもとに考えている。

(3) 準備物

〔指導者〕 電子黒板、タブレット

〔児童〕 分かったこと、気づいたことをまとめたワークシート

(5) 学習の展開 (64/70時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準および判断基準 (方法)
<p>1 学習計画をふり返る。 (1分)</p> <p>2 めあてを確認する。(1分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今日の学習が三学期の学習計画のどのあたりなのかを確認し、見通しをもたせる。 本時のめあては児童の言葉で作る。 	
<p>他のグループと交流し、仕上げるための改善案を考えよう。</p>		
<p>3 今日の学習の流れを確認する。</p> <p>①交流のための新しいグループ(専門家グループ)を作る。 (2分)</p> <p>②専門家グループで意見交換を行う。(15分)</p> <p>③ホームグループに戻って、改善案と今後の見通しを話し合う。(20分)</p> <p>4 振り返りをする。(5分)</p> <p>5 次時の学習の予告をする。(1分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童と本時の流れや時間を確認することで、活動の見通しをもち、意欲的に取り組めるようにする。 ジグソー学習の形態を取り入れることで一人一人が積極的に交流活動に取り組めるようにする。 他のグループから得たものを活用して、改善できるところを話し合わせる。 次時では、どのように制作していくのか、また、完成までにどのような活動をしていくのかを確認させる。 ワークシートに、本時の学習の振り返りを書かせる。 次時からの見通しを伝えることで、ゴールまでに自分たちがすべきことを明確にもたせるようにする。 	<p>○チラシや、ポスターなどを仕上げるための改善点を根拠(プロの視点)をもとに考えている。</p> <p>(行動観察・ワークシート)</p>

12 板書計画

㊦他のグループと交流し、仕上げるための改善案を考えよう。

・探究的な流れのどこか
・身に付けた
い力

学習の流れ

- ①交流のための新しいグループ（専門家グループ）を作る。（2分）
- ②専門家グループで意見交換を行う。（15分）
- ③ホームグループに戻って、改善案と今後の見通しを話し合う。（20分）

ジグソー
活動 図

A	B	C